令和元年度　第２回学校関係者評価委員会

　　　　　　　信頼される学校づくりのための委員会　　　　　　　　　　　　　　　　　記録　児玉

１　期日　令和２年２月13日（木）

２　時間　場所　本校会議室

３　内容

(1)開会のことば

(2)校長あいさつ

　　夏の演劇部から元気な活動が続いている。新たな取り組みについて（みらい留学）。入学願書受付状況説明。学校の魅力化プロジェクト（カリキュラムマネジメント）将来育てたい生徒像（18年間ととおしたカリキュラム）。

(3)説明Ⅰ　学校概要について（教頭）　　資料（ｐ３~17）をもとに説明

　　ア　本年度の生徒募集の取り組みと本年度志願状況

　　イ　信頼される学校づくりを目指して

　　ウ　各種大会，検定等の実績

　　エ　生徒による自己評価アンケート分析

　　オ　保護者による自己評価アンケート分析

　　カ　職員による自己評価アンケート分析

質疑応答

　　　　委員　入学希望する生徒は，私立の授業料無料化も影響があるのか？

　　　　委員　環境なんとか金とかもかかるのでそう影響はないのではないか。

　　　　委員　お金の問題というよりも距離が問題。通う時間がもったいない。寮とかに入った方が，部活などに専念する時間が増える。

　　　　委員　町の取組，寮が必要か。入る生徒がいるのかということについて調査を始める。

　　　　委員　高校時代を屋久島で過ごす価値を高める必要があるのではないか。保護者の評価が低く出ているのが気になる。価値を明瞭にしていく必要があるのではないか。地元の方々の誇りになるような高校になりつつあるのではないかと思っている。

　　　　委員　回収率が低いのは，子どもたちがしっかり渡していないのではないか？

　　　　学校　同じ時期にはやっている。

　　　(4)説明Ⅱ　活力と潤いに満ちた特色ある学校づくりのために　資料（ｐ18~19）をもとに説明

　　　　　教務部（児玉）　 ：今年度内容変更した行事の説明（一日体験入学）

　　　　　進路指導部（髙山）：今年度の進路状況

生徒指導部（嶽釜）：支援シートの活用について

　　　　　保健部（田中）　 ：う歯治療率向上への取組について

　　　(5)協議

　　　　委員　生徒指導関係。不登校傾向の人数。退学・原級留置の人数。

　　　　学校　各学年１～２名程度。別室登校が増えている。適応委員会の説明。

出席日数についての配慮の説明。スクールカウンセラーの説明。

　　　　委員　いじめの状態はどうか。

　　　　学校　１学期に一部いじめが見受けられた。指導を行っている。その後，改善も見られる。

　　　　　　　２学期も人間関係のトラブルは見受けられた。

　　　　委員　問題行動を起こす子はいないのか。

　　　　学校　前兆行動があるので，できるだけ見逃さない体制をつくっている。家庭の状況もできるだけ把握するようにしている。

　　　　委員　支援シートをとおして，本人が訴えることはないか。有効活用ができるといいのではないか。

　　　　学校　家庭とも連携してすすめている。

　　　　委員　う歯治療率が上がらないが気になる。なぜ，高校が低いのか。

　　　　委員　小学校７割，中学校６割が治療している。高校から治療にお金がかかるようになるのも大きいのではないか。

　　　　学校　医療費助成がないところに聞いても，あってもなくてもなかなか高校では上がらない。

　　　　委員　時間がないのが一番大きいのではないか。

　　　　委員　いじめ等について，支援教室の生徒の状況はどうか。

　　　　学校　他の生徒とも同じように活動できている。いじめ等は見受けられない。

　　　　委員　県外から受ける生徒はどこの県か

　　　　学校　埼玉と北海道。男女１名ずつ。

　　　　委員　中学校の校長が集まって話し合いをする。高専や私立に抜ける関係がある。学力の低い生徒が併願で違う学科に移ることがあるのか。普通科が40人を切る可能性もあるのでは。

　　　　委員　下宿の状況は。

　　　　学校　宮之浦と高平に確保している。町への補助金申請には４人いたのだが，最終的には2人の出願になった。併願についての説明。今年度初めて取り組んでいる。本人の希望を優先に考える。

　　　　委員　高校内で署名活動があったかに聞いた。どうとらえているのか。対応をされているのか。

　　　　学校　担任や部活動を通じて聞いてもらったが，何もないように聞いている。生徒指導の方からも主権者教育の観点から指導している。地歴公民の授業の中でも触れてもらっている。

　　　(6)連絡事項

　　　(7)閉会のことば